

令和元年度の医療ツーリズム推進に係る取組状況について

資料 1

1 あいち医療ツーリズム推進協議会の開催

関係者間の連携促進を図りながら、医療ツーリズムの推進に向けた具体的な取組について引き続き協議する。(今年度は本日開催)

2 県内医療機関への情報提供等支援

積極的な情報発信やアドバイザー派遣を行うことにより、県内の医療ツーリズム推進の機運を高め、医療機関の外国人患者受入れが円滑になるよう支援した。

(1) 情報発信

外国人患者の受入れにおいて先進的な県外の医療機関を訪問し、課題の解決策や具体的な取組等について聴き取った結果を、県内病院へのメール送信及びweb ページへの掲載を通じて広く発信する。

ア 時期 令和2年2月から3月(予定)

イ 訪問先 調整中(2カ所の予定)

(2) アドバイザー派遣

外国人患者を受け入れている(又は受入れ予定の)県内の医療機関に対して、知識・経験が豊富なアドバイザーを派遣し、実践的な助言等を行った。

ア 日程 令和元年7月11日(火)

イ 派遣先 刈谷豊田総合病院 健診センター

3 国際医療コーディネーターの育成【別添1】

医療機関において外国人患者の受診環境整備や患者・家族及び医療スタッフの支援を行うコーディネーター業務を担当する人材や、外国人患者に対して治療費の支払い代行、通訳派遣、その他患者受入れに関わる一連のサービスを提供できる人材を育成するため、研修を実施した。

(1) 日時 令和元年12月10日(火)午後1時30分から午後5時まで

(2) 会場 ウィンクあいち11階会議室1104号室(名古屋市中村区)

(3) 参加者 医療機関の職員等(29名)

(4) 委託先 一般社団法人中部メディカルトラベル協会

4 海外PRの実施【別添2】

中国の北京で開催された「国際医療旅游展覧会」に出展し、チラシ、グッズ等を活用しながら、海外の医療関係者等に向けて、本県の医療ツーリズムについてのPRを行った。

また、中国では、特に都市部で老若男女問わずデジタル化が進んでいるため、出展に先立ってインターネット広告等を掲出し、展覧会の愛知県ブースへの訪問を呼びかけた。

(1) 日時 令和元年11月22日(金)から24日(日)まで

(2) 会場 中国国際展覧センター(北京)

(3) その他 詳細は別途

5 医療機関向けアンケートの実施【別添3】【別添4】

医療ツーリズムの現状及び推進にあたっての課題について、前回(昨年度)の調査以降の変化等を明らかにするため、「外国人患者の受入れ状況に関するアンケート」を実施した。

(1) 時期 令和元年5月

(2) 対象 県内の病院の一部(276病院)

(3) 回収率 72.8%(201病院から回答)

6 国家戦略特区による規制緩和に向けた動き【別添5】

(1) 背景・経緯

平成28年11月に「あいち医療ツーリズム研究会」が取りまとめた「医療ツーリズム推進に向けた提言」をもとに、国家戦略特区における新たな規制の特例として、「医療ツーリズムの推進のための規制改革」を国に提案した。

(2) 本県の提案内容

ア 医療滞在ビザに係る手続き及び申請書類の簡素化により、申請から発給までの期間を大幅に短縮する。

イ 短期滞在ビザで訪日した外国人が滞在中に、①病気や事故に遭い、治療が必要となった場合や、②検診の結果、一旦帰国することなく治療を望む場合は、帰国できる状態であっても、在留期間の延長や在留資格の変更を認める。

(3) 現状

昨年12月に開催された国家戦略特区諮問会議において、早期治療が必要な場合の滞在期間の延長や再入国時の迅速なビザ発給等が認められる基準・手続の明確化に係る所要の措置について、今年度中の実施を目指すこととされた。